

北海道美唄市の大樹さん

特別住民番号283

生まれは平成3年12月4日生まれです。

名前は、生まれる前から男の子と聞いていたので、生まれる前から大樹と名前をつけ年賀状も、大樹の名前を入れて生まれて来るのを待ちました。

名前は、大樹の父が、大樹の様に、大きく優しく誰をも、包みこむそんな人間になってほしくてつけました。

今小学校2年生ですけれども、とても大きく、とても優しい子に育っています。これから、大人になっても、体も心も大きな子になってほしいと思います。誰れでも優しく包みこむ優しい子に、今のまま、こまっている人がいたら手をさしのべるそんな人間になってほしいです。

大樹と言う、名前にまけないでほしいです。(父)



北海道浦河町の大樹さん

特別住民番号296

平成1年1月、私は、北海道に嫁いできました。私の出身地は千葉県なのですが、学生の頃から広大な北海道にあこがれ、大好きな松山千春の、「大空と大地の中で」という歌のテープをよく聴いて、テレビや雑誌でしか見た事のない、北海道の大自然を、いつか見てみたいと夢に描いていました。縁あって、牧場を営む主人と知り合い、あこがれの北海道の住人になりました。子供が生まれたら、男の子でも、女の子でも、「大」という字を名前の中に入れてたい。そして、生まれた子供は男の子。この頃、世間では「大介」という名前が流行っていました。しかし、我家はかねてからの私の希望の「大」と、主人の名前(繁樹といいます)の一字「樹」からとって「大樹」とつけました。心も体も大きく、広く、そして、苦しい事があっても、しっかりと大地に根をはるような、たくましい人になってほしいという願いをこめて—！そして、あれから10年たち、親の願い通り、心も体もたくましく育ってくれました。弟の佑樹、妹の悠と兄弟も増えました。主人、子供たち、母、そして私の6人家族。毎日、にぎやかに過ごしています！

(母)



北海道弟子屈町の大樹さん

特別住民番号304

「男だったら、大きいに樹木の樹と書いて大樹(たいじゅ)にしよう。」

ちょうど2年前の夏、車の中でこの子の誕生を心待ちにしていた主人がぼつりつつぶやいた一言が、大樹(たいじゅ)と名付けようと決めるきっかけとなりました。

「大樹(たいじゅ)にしよう。」

と、言われた時、すぐに“大きくたくましく育てたい”という願いが叶うような響きでいいなと思い、賛成をしました。“大きな大きな樹木のように”という願いを込めた子は平成9年12月23日に、母親が陣痛を感じるひまもない程のスピードで産まれてきました。

産まれてすぐに、たくさんのおっぱいを飲んで、日々大きくなっていく我が子の姿を見る度に、大樹(たいじゅ)という名前はぴったりでした。これといった病気もせず、夜泣きもせず、よく食べよく遊びよく寝る子です。母親が仕事を持っているため、生後3ヶ月から日中は保育ママと一緒に過ごす生活ですが、非常によくかわいがってもらい、たくさんの方の友達もできました。休みには、体が丈夫な事を幸いに、魚釣り、温泉めぐり、散歩、動物園めぐり…と様々な所へ連れていって、たくさんの方の経験ができるように、心



がけています。大きな樹木になるように…。

1歳の誕生日を終えてすぐに、子連れで海外旅行にでかけ、現地の方々に「たいじゅ」と、たくさん声をかけてもらい、楽しかったです。

最後に、大樹にとって思い出となる企画を提案してくださった大樹町の皆様に心から感謝致します。

(父)

埼玉県川越市の大樹さん

特別住民番号311

「大樹」と名づけた由来

この～木なんの木、気になる木、見たこともない木ですから、見たこともない、花が咲くでしょう…



日立のコマーシャルに出てくる大木のイメージが、大樹という名前の由来となっております。

あの木の大きさと周りの芝生の明かるさが、とても好印象！！

大木のなんでも受け入れてくれるような度量の大きさ、芝生に反射した眩しく力強い太陽光線が前向な姿勢を暗示しているようで、あのコマーシャルのイメージから命名しました。

細かなことにぐじぐじするのではなく、本道を堂々と歩むような人間になってほしいと思っております。

正直なところ言葉にした意味よりも、このようなイメージを思い浮かべ大樹という名前にしました。

ただ残念なのは、大樹という名前がその年のベスト3に入るくらいポピュラーなものだったと知ったことです。

まー、名前なんかにとらわれず、のびのびと育ててほしいものです。(父)

千葉県八千代市の大樹さん

特別住民番号313

僕大樹(だいき)は平成9年6月24日生まれです。僕がお母さんのお腹にいる時、パパは女の子がほしいとひそかに願っていたようです。だから女の子の名前だけは考えていたそうです。でも生まれてきたのはこの僕。もちろん名前など決まっているはずありません。



僕は予定日より少し早く生まれてきたので、病院の中では小さい赤ちゃんでした。パパは名前を考える時、今は小さな苗木でも将来はしっかりと大地に根が張った大きな樹木の様になってほしいという願いを込め、この名前をつけたそうです。せめて名前だけでも…？との思いで。

この様に「小さいから大きくなってほしい。」という単純な理由でつけた名前のお陰で、息子は大樹町特別住民になれました。しかも本まで作成していただけたとは。大樹の宝物がまたひとつ出来ました。

今年5月には家族三人で大樹町を訪ね、雄大な自然を満喫して参りました。

いずれ息子が成長するときと私たちに尋ねる事があるでしょう。「僕の名前はどのようにつけられたの？」と。その時はこの本を見せてあげたいと思います。(父)

北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号316

お腹の中の、小さな命が、この世に姿をあらわす時…。想像しただけで心に力が湧いてきて、元気で元気でありますよという想いで一杯でした。以前、私が人生の岐路ともいべき場所に立たされた時、ある占いで自分の前世は、自然にたとえると「木」とであると知らされました。



太い木？細い木？ さて、どんな木だったのでしょうか。それは細い木で、大きな木に寄りそっているような、家に茂るツタのような木でした。「それでは一人でもドッシリ根をおろして立つ太い木になるよう頑張らなくてははいけませんね。」と言うと「いえいえ。あなたの生まれ持ったものは、細くて、大きな木に寄りそうような形が丁度良いのです。無理をして太い木になろうとすると余計心に負担が掛かるのですよ。自然のまま、落ち着く場所を探して下さい。」自分を知る良い経験ではありましたが、どうせなら、がっしりとした大きな木という星のもとだったらな…と、感じたものでした。生まれて来る子供には、そんな大きな大きな木に育ってほしい。(自分が細い木と言われネガティブになっているわけではないのですよ。)いつの日かそんな想いがふくらみ、願いを字にしてみると大樹(まったくそのとおり!!)という名に出会えたのです。大きな心で自分自身をしっかり持てる人。

いつの日か、彼が大きくなって大切な人と出会った時、その人達にやすらぎを与えられる広い心を持った人に成長してくれれば。彼自身も心にやすらぎを持てる人生であってほしい。そんな想いを込めて大樹と名付けました。(母)

北海道木古内町の大樹さん

特別住民番号324

「大樹」と書く名前にも色々な呼び方があると思いますが、私の場合は『ひろき』と呼びます。

「大樹」は両親いわく、広く大きく豊かに大空のごとく、男子たるもの心が大きくなければ、いい仕事はできん。

3日に一度の口癖の中で育った私は、はたして……



漢字名は決まっても呼び方で父は「だいじゅ」、母は、「ひろき」と意見が分かれ、結果的に大変なおもいをした母への感謝と、やさしい人間になるようにとの響きから「ひろき」と命名したそうです。

かくして弟も「雄樹」で、広く大きく豊かに大空のごとく、男子たるもの心が大きくなければ、いい仕事はできんです。

ちなみに呼び方は「ゆうき」です。

ここまで来ると第三子は、皆さん期待しますが経済的理由と母の強硬的な阻止(私にはなんのことやら?)にあい誕生に至りませんでした。

私は今、社会人として働く一方、高校からの部活であったラグビーを、7月には、全道選手権でAブロックのバーバリアンズに敗れ全道2位に、弟(由来が同じ関係上あしからず)は函館有斗軟式野球部で全道大会で道工高校に敗れこれまた全道2位に。

【広く大きく豊かに大空のごとく、男子たるもの心が大きくなればいい仕事はできん】の両親を超えられる日は……

そして私も、同じ事を自分の子供に言うとしたら…?!

かくて何年後でもない。

北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号325

我が、高橋家の次男である大樹(ひろき)は、平成2年8月14日に双子の弟として札幌で産声をあげました。双子と判ってから誕生前の3ヶ月間は、二人共元気に生まれるよう大事をとって入院しておりましたので、名前についてなかなか相談出来ずにおりました。



生まれてすぐ、育児雑誌を見ると、大樹という名前は今年とても人気があるという記事を読み、ちょうど自分も直樹という事なので、大樹(ひろき)と名付けました。双子の

一人が大樹ならもう一人は、悠樹(ゆうき)と名付け、二人合わせて、悠大な樹のように大きく育て欲しいと願いを込めて、特に、面倒な勉強もせずに、悠樹、大樹と命名しました。

今年9才になる大樹は、「ひろき君」と呼ばれることは少なく、ほとんど「たいき君」と呼ばれ、本人も「またかー」という顔をしています。

「ひろき」ではなく、「たいき」にすれば良かったかなあと思う事もありますが、これからも、大きい樹のように丈夫で元気な男の子に育て欲しいと願っております。(父)

北海道斜里町の大樹さん

特別住民番号327

こんにちは、私は特別住民にならせて頂いた『大樹』の母です。

私達夫婦に、赤ちゃんが産まれたのは、今から5年前の夏、網走で最高気温37度を出し、記録は40年ぶりとさわがれた時でした。そんな暑さの中で夫は、子供の名前を『宗一郎』と考えていました。それは、ホンダの車が大好きで、本田宗一郎を尊敬していたからです。



又、夫の父は息子の一字をとり『大樹』という名を考えていました。息子とは、私の夫『金樹』のことです。この金樹の由来は、字から判断すると『金のなる樹』そう思われがちなのですが、実は近くによく働くととても優秀な馬がいて、その名が『きんじゅ』と呼ばれ、その名を頂いたそうです。

二つの名前が上がり、決断する前に、私の父の所へ相談に行くと、まよわずに、武山に合うのは、大樹と答えてくれました。

その意見を参考に、夫婦で考えた結果決定！！

その時夫の祖父は由来を、こう答えてくれました。

「父の名を一字もらうことにより、親をこえる大きな人に、色々な意味で育っていつてもらいたい」

そういう思いで考えたそうです。

また、私達夫婦は「たいき」と書いて「ひろき」と読むことがとてもきにいました。そして字の通り、大きな樹のようにどっしりとした心と体で、これからの世の中を見て育っていつてもらいたい。そう願いを込めました。

父の名を一字とった「樹」とより大きな人と願いを込めた「大」とが合わさり名前がきまりました。

夫、金樹は由来の通り、よく働き、とても優しい人です。我が息子も夫のように育てくれたら、嬉しいと願っています。

今年ひろきは5歳になりました。私達が考えた、大樹という名前と、大樹町とがこんなステキなつながりを持たれたことを、祖父に感謝しています。(母)

北海道苫小牧市の大樹さん

特別住民番号333



私達は、息子の命名の時に考えたことは、まず男の子なので字画の良

い名前にしたいということです。

そして、家業が造園業なので、ぜひそれに関係した名前をつけたいと思いました。

色々な名前を考えましたが、この『大樹』という名前に、大きくのびのびと、そして、大地に根をはり、物事にもどっしりと、かまえることの出来る人間となってほしいという意味をこめてつけることにしました。

読み方も、ダイキとは読まず、タイキにしたのも、にごらず、すなおな人となってほしいと思ったからです。

今、大樹は、5才です。最近とてもしっかりしたお兄ちゃんとなってきました。この夏は、3才の妹「さくら」と二人で、電車に乗ったりと、面倒みの良いお兄ちゃんです。両親としては、とても頼もしい限りです。

これからも、名前まけせずに、元気で、のびのびと育ててほしいと思います。
(父)
